

粗大ごみ戸別収集業務委託仕様書（４号車）

第１ 適用

本仕様書は、東金市外三市町清掃組合（以下「発注者」という。）が発注する粗大ごみ戸別収集業務委託(以下「業務」という。)に適用する。

第２ 業務の目的

本業務は、東金市・大網白里市・九十九里町・山武市（旧成東町）の各家庭から排出される一般廃棄物のうち、発注者の定める粗大ごみ（以下「粗大ごみ」という。）及び指定する特定家庭用機器廃棄物（以下「特定家庭用機器廃棄物」という。）を迅速かつ適正な収集・運搬を行い、住民の生活環境の保全と環境美化の推進を図ることを目的とする。

第３ 業務の概要

- 1 委託業務名 粗大ごみ戸別収集業務委託（４号車）
- 2 履行期限 令和７年７月１日から令和１０年３月３１日（長期継続契約）

第４ 業務の内容

- 1 収集・運搬及び積込み・運搬を行う対象物
 - (1) 収 集・運 搬：粗大ごみ
 - (2) 積込み・運搬：特定家庭用機器廃棄物
- 2 粗大ごみの収集区域及び収集・運搬日程
 - (1) 収集区域及び収集・運搬日程は、「山武市（旧成東町）内・東金市内」の次の収集区域とする。

収集・運搬日程	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
収 集 区 域	緑海 鳴浜	大富 南郷	成東	大和 福岡 (東金市)	丘山 城西 (東金市)

3 運搬先

- (1) 粗大ごみの運搬先は、次のとおりとする。

名称 東金市外三市町環境クリーンセンター
住所 東金市三ヶ尻３４０番地
- (2) 特定家庭用機器廃棄物の運搬先は、原則、次のとおりとする。

特定家庭用機器再商品化法に定める指定引取場所

会社名	住 所
日本通運株式会社 千葉東支店	千葉県佐倉市大作１－８－７
南総通運株式会社 茂原支店	長生郡長柄町山根１，１９３－１

- (3) 特定家庭用機器廃棄物の積込み・運搬は、発注者の指示により、原則3か月に1回行うものとする。

積込み場所

名称 特定家庭用機器一時保管場所

住所 山武市成東3787番地

4 収集・運搬

- (1) 受注者は、業務実施にあたり発注者の指定する場所（東金市外三市町環境クリーンセンター）で粗大ごみ収集伝票を受領しなければならない。

粗大ごみ収集伝票を受領する曜日・時間

ア 曜日:月曜日から金曜日（祝日除く）

イ 時間:16時30分から17時までの間とする。

- (2) 収集・運搬の時間は、8時から17時までの間とする。
- (3) 粗大ごみの1日の収集件数は、原則、50件（1人に対する申込件数を1件とする）以下とする。
- (4) 指定された収集区域の粗大ごみは、当日の時間内に収集・運搬が完了しなければならない。
- (5) 収集・運搬を要しない日は、原則、土曜日、日曜日及び年末年始(12月29日から1月3日)とする。
- (6) 業務の詳細は、別紙「粗大ごみ戸別収集マニュアル」による。
- (7) 収集伝票には、個人情報に記載されているため、適切に管理すること。

第5 提出書類

受注者は、業務着手にあたり次の書類を発注者に提出し、承認を得なければならない。

- (1) 着手届
- (2) 業務主任技術者
- (3) 業務工程表
- (4) 使用車両届出書
- (5) 保険証等の写し
- (6) 車両従事者届出書
- (7) 連絡体制届出書
- (8) その他、発注者が必要と認めた書類

第6 使用車両

- 1 使用する車両は、「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例(平成14年千葉県条例第2号)」等に適合した車両であること。
- 2 車両形状は、原則、最大積載量2,000キログラム以上3,000キログラム以下のダンプ車両（枠付き）1台とする。ただし、車両の長さ5メートル、幅2メートル、高さ2.5メートル以下とする。
- 3 受注者は、使用する車両の自動車登録番号等を事業用としなければならない。ただし、車両登録等の手続き上遅れる場合は発注者の承認を得なければならない。

- 4 受注者は、使用車両届出書を発注者に提出し、承認を得なければならない。この際、発注者の指定する色「白」に塗装し、「会社名」及び「東金市外三市町環境クリーンセンター 一般廃棄物収集運搬車両 4 号車」と必ず黒字で車体に表示しなければならない。また、使用車両届出書に変更が生じた場合は、速やかに発注者に使用車両変更届出書を提出し、承認を得なければならない。
- 5 受注者は、収集区域の粗大ごみを当日の収集時間内に収集・運搬が完了するよう必要に応じて追加車両の配車が可能な体制を確保しなければならない。
- 6 受注者は、使用車両届出書以外の車両を使用する場合は、臨時車両使用届出書を発注者に提出し、承認を受けなければならない。
- 7 臨時車両を使用する場合は、上記 4 は適用しない。

第 7 保険等

受注者は、使用する車両に自動車損害賠償任意保険の対人賠償保険（無制限）、対物賠償保険（1 千万円以上）に加入しなければならない。また、保険証等の写しを発注者に提出しなければならない。

第 8 体制

- 1 受注者は、業務履行にあたり粗大ごみ及び特定家庭用機器廃棄物を迅速かつ適正に収集・運搬するために必要な運転者及び補助従事者（以下「従事者」という。）を車両に配置し、車両従事者届出書により発注者に届出し、承認を得なければならない。また、車両従事者届出書に変更が生じた場合は、速やかに発注者に車両従事者変更届出書を提出し、承認を得なければならない。
- 2 発注者は、業務履行にあたり不適当と思われる従事者について、その理由を明示し、従事者の変更を指示することができる。この場合、受注者はそれに従わなければならない。
- 3 従事者は原則、専門の者とする。これによらない場合は、理由書により発注者に届出し、承認を得なければならない。
- 4 受注者は、携帯電話等により発注者及び受注者並びに車両従事者との連絡が図れる体制とし、連絡体制届出書を発注者に提出しなければならない。また、連絡体制届出書に変更が生じた場合は、速やかに発注者に届出しなければならない。

第 9 安全管理

- 1 受注者は、次の項目について使用車両に装備しなければならない。
 - (1) 積載物の飛散防止のための必要なもの。（シート、ロープまたはネット等。）
 - (2) 収集する粗大ごみを計測するためのメジャー等。（2 メートル以上測れるもの）
 - (3) 収集区域の住宅地図等。
 - (4) その他発注者の指示したもの。
- 2 受注者は、収集した粗大ごみ及び特定家庭用機器廃棄物の運搬は、必要に応じてシート又は、ロープ等により、積載物の飛散等が発生しないよう措置を講ずること。また、飛散等が発生した場合は、直ちに回収及び清掃を行い、現状の復旧に努めなければならない。
- 3 受注者は、業務遂行中、一般車両等の妨げとなるような行為をしてはならない。また、使用車両の始業点検等を行い、交通法規を厳守し、常に安全な運行に努めなければならない。

ない。

第10 遵守事項

- 1 受注者は、業務履行にあたり「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年、法第137号）」及び「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例（平成14年千葉県条例第2号）」並びにその他の業務に関する関係法令等を遵守するとともに業務の運営にあたっては、衛生的かつ能率的に行わなければならない。
- 2 受注者は、従事者に安全かつ清潔な統一した服装を着用させ、発注者の支給する腕章を着用すること。
- 3 受注者は、業務履行にあたり、第三者に対し金品の要求または、住民に不快の念をあたえないよう服装、言葉使い等に充分注意しなければならない。
- 4 受注者は、安全運転、安全作業を行い事故防止等に努めなければならない。
- 5 受注者は、使用する車両を常に清潔に保ち、運行する道路周辺住民に不快感を与えてはならない。また、車両保管場所周辺についても同様とする。
- 6 受注者は、発注者が指定する通行禁止区域を通行してはならない。ただし、発注者の承諾を得た場合を除く。

第11 報告

- 1 受注者は、粗大ごみ戸別収集作業日報及び粗大ごみ収集伝票を翌日（土、日、祝休日にあたる場合は、その翌日）、発注者に提出しなければならない。
- 2 受注者は、粗大ごみ戸別収集作業月報を毎月5日まで（土、日、祝休日にあたる場合はその翌日）、発注者に提出しなければならない。
- 3 受注者は、連絡票シールを使用した場合、粗大ごみ戸別収集連絡票シール使用報告書を翌日（土、日、祝休日にあたる場合はその翌日）、発注者に提出しなければならない。
- 4 受注者は、特定家庭用機器廃棄物を指定引取場所へ運搬した場合、特定家庭用機器廃棄物指定引取場所搬入報告書を翌日（土、日、祝休日にあたる場合はその翌日）、発注者に提出しなければならない。

第12 従事者災害等

- 1 受注者は、業務履行に関し生じた従事者の災害等については全責任をもって措置し、発注者は何ら責任を負わない。
- 2 前項の場合において、従事者の災害等が生じた場合、受注者は、直ちに発注者に書面により報告しなければならない。

第13 臨機の措置

- 1 受注者は、災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。この場合において、必要があると認めるときは、受注者は、あらかじめ、発注者の意見を聞かなければならない。ただし、緊急やむを得ない事情があるときは、この限りではない。
- 2 前項の場合において、受注者は、そのとった措置の内容を発注者に直ちに報告しなければならない。
- 3 発注者は、災害防止その他業務を行う上で特に必要があると認めるときは、受注者に対して臨機の措置をとることを請求することができる。

第14 教育訓練

受注者は、従事者に対し、必要な教育訓練を行わなければならない。

第15 秘密の厳守

受注者は、業務の履行上知り得た秘密事項は、他に漏らしてはならない。

第16 疑義事項

この仕様書に明記されている事項を除き、業務遂行に際し、疑義が生じた場合、必要に応じて発注者と受注者とが協議するものとする。

本業務に係る収集日数、運搬車両の走行距離及び業務時間の算定根拠は下記のとおり。

1. 粗大ごみ戸別収集運搬

A：年間走行距離 ※1	B：収集日数 ※2	C：1日当たりの 走行距離（A／B）	D：1日当たりの 業務時間
14,573km	256 日	56.93km	2.11 時間

2. 廃家電収集運搬

1 回の走行距離 ※3	1 回の移動時間	1 回の積下し時間	1 日当たりの 業務時間
64.8km	2.16 時間	1.0 時間	3.16 時間

※1 令和3年度～令和5年度の実績による数値

※2 計画上の最大収集日数

※3 令和5年度の実績による数値